

授業科目名： 歴史概説 I	教員の免許状取得のための 必修科目（中学社会） 選択科目（高校地歴）	単位数： 2 単位	担当教員名：堀川 徹 担当形態：単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 日本史・外国史（中学社会） 日本史（高校地歴）		
「学位授与の方針」との関係 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探求能力を身につけていること。			
授業の到達目標及びテーマ 授業のテーマ 高等学校の地理歴史科、あるいは中学校の社会科の教員を目指す者が、日本史の最新の研究成果を多角的に学ぶとともに、世界史の中の日本史という視点で発展的な知識及びその知識を得るための方法論を修得する。 到達目標 ・近年の日本史学の研究成果を理解できる。 ・世界史の中で日本史を位置づけ、理解・説明することができる。 ・問題意識をもって、自ら主体的に学ぶことができる。 ・日本史に関する歴史的事項を多角的に理解し、説明することができる。 ・歴史的事項の因果関係・相関関係について理解し、説明することができる。			
授業の概要 日本史について、周辺地域との関りに留意しながら概観する。単に歴史的事項の羅列にとどまらず、歴史的事項の因果関係・相関関係に着目する。現行の学習指導要領に準拠しつつ、改定後の「歴史総合」にもつながるような問題意識を養う。			
授業計画 第1回：日本史と世界史をめぐる諸問題—テキスト p2～p17— 第2回：奈良時代までの周辺諸地域と日本—テキスト p20～p39— 第3回：平安時代の周辺諸地域と日本—テキスト p40～p63— 第4回：院政・鎌倉時代の周辺諸地域と日本—テキスト p66～p81— 第5回：室町時代の文化と周辺諸地域—テキスト p82～p93— 第6回：戦国時代の新視点—テキスト p94～p105— 第7回：キリスト教と近世日本—テキスト p108～p115、p120～p123— 第8回：近世社会の新視点—テキスト p124～p139— 第9回：世界史の中の近世日本—テキスト p116～p119、p140～p151— 第10回：近代日本の新視点(1)議会の始まりと皇后—テキスト p154～p161— 第11回：世界史の中の近代日本—テキスト p162～p169— 第12回：近代日本の新視点(2)知的障害と「からゆきさん」—テキスト p170～p177—			

第13回：近代日本と国際社会の相互関係—テキスト p178～p189—

第14回：徴兵・引揚者・占領のもう1つの顔—テキスト p190～p201—

第15回：世界史の中の戦後日本—テキスト p202～p213—

定期試験

※スクーリングでは第1回～第4回を実施する。

スクーリングでの学修内容

主に、第1回～第4回の内容を含む。

教科書

(1) 歴史科学協議会編(2017)『知っておきたい歴史の新常識』勉誠出版

参考文献

- ・歴史科学協議会編『歴史の「常識」を読む』東京大学出版会、2015
- ・テキストに記載されている参考文献をもとに、受講生自らが収集する。
- ・手島純編『社会科・地歴科・公民科指導法』星槎大学出版会 ※2022年2月出版予定
- ・「なお、この参考図書は本科目とは直接関係しませんが、中学社会・高校地歴の免許取得を目指している学生は手元にあると良いでしょう。」

学生に対する評価

スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)を総合して評価する。